

【福島県の実態】

基本理念「第7次福島県総合教育計画」 学びの革新推進プラン
育成したい人間像：急激な社会の変化の中で、自分の人生を切り拓くたくましさを持ち、多様な個性をいかし、対話と協働を通して、社会や地域を創造することができる人

【いわき市の教育施策】

～未来をつくる いわきの学校教育ABCプラン～

目標 次代のいわきを担う、「生きる力」を身に付けた子どもの育成
学校教育の約束 夢に向かってチャレンジする子どもを育みます。
取組の視点 A(Activity) 様々な体験活動・学習支援活動を推進します
B(Base) 教育の「土台」の部分により一層充実します
C(Care) 子どもたちの命を守る取組を充実します

【地域の実態】

○ いわき市の最北部に位置し、東に太平洋、西に緑と豊かな自然に恵まれた地域である。フタバズキリュウが発掘された土地でもあり、教育資源も豊かである。東日本大震災では、津波・火災の被害を受ける。

いわき市立久之浜中学校
校訓《協力・勤勉・飛躍》

— 教育目標 —

自主自立：自ら考え、表現し、進んで学習する生徒
共生：自己理解を深め、共に成長できる生徒
挑戦：心身共にたくましく、しなやかな生徒

【生徒の実態】

○ 全体的に明るく素直で、伸び伸びとしている。小学校からの人間関係のもと、みんなのために働いたり、協力したりすることができるが、さらなる主体性・積極性が望まれる。

【本校の教育課題】

○ 少子化に伴う生徒数の減少を受け、生徒が多様な考えに触れ、認め合い、切磋琢磨し、学力や体力、コミュニケーション能力等をより高め自信をもって表現する力を育成したい。

【目指す教師像《包容力・団結力・機動力・パッション》】

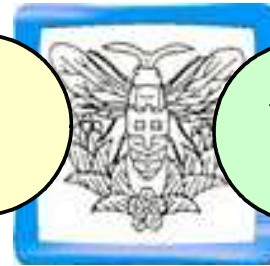
【包容力】
温かさや慈しみをもって生徒に接し、認め励まして育てます。
【団結力】
全ての教職員が一致協力して、組織として課題に向き合います。
【機動力】
企画・実践・改善をスピーディーに。教育課題も生徒指導も積極的指導で解決します。報告—連絡—相談—対応を励行します。
【パッション（生徒を思う熱い気持ち）】
生徒を信じ、生徒に寄り添える教師となります。

重点目標1「自主自立」
確かな学力

重点目標2「共生」
豊かな心

重点目標3「挑戦」
健康・体力

重点目標4
開かれた学校



1 「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業改善の推進

- 主体的に考え、表現し、伝え合う言語活動の充実（思考ツールの活用）
- 互見授業・校内授業研究の推進
- 非認知能力を伸ばす指導（校内研修）
- 活用力育成シートの効果的な活用
- ICTを効果的に活用した授業改善
- 小中連携事業による繋がる学習の推進

2 家庭における学習習慣の確立

- 「家庭学習スタンダード」を活用した取り組み
- GIGA端末を活用した家庭学習
- 生活ノートを活用した家庭における学習状況の把握と支援
- ガイダンス機能を活かした教科指導

3 個に応じた指導の充実

- 一斉学習と個別学習のバランスのとれた授業の構築（個別最適な授業の実践）
- ユニバーサルデザインの考えを取り入れた授業の展開

1 基本的生活習慣の定着

- 「返事・笑顔・背筋を伸ばす」の指導（ハイ・ニコ・ピン）
- しっかり傾聴の推進
- 確実な準備と後片付けの励行

2 道徳教育の充実

- 考える道徳、議論する道徳への転換
- 体験活動を通しての道徳的実践力の向上

3 可能性の伸長と役割の自覚と実践

- 部活動や諸活動の活性化
- 生徒による企画・運営場面の設定（全校集会の実施）
- 清掃活動やボランティア活動の充実（久中レンジャーの活動推進）

4 キャリア教育の推進

- 自己存在感や自己肯定感の醸成
- 地域学習や職場体験学習の充実
- 将来の展望を持たせる進路指導の推進（久中版「志塾」の実施）

5 インクルーシブ教育の推進

- ダイバーシティ・インクルージョンの考え方の推進（多様性）（受容）

1 日常的な保健・安全の指導

- 「早寝・早起き・朝ご飯」の推進
- 「自分手帳」を活用した望ましい生活リズム・運動習慣・食習慣の確立に向けた指導
- 給食共同調理場と連携した「食」の指導

2 危険予測・危機対応力の育成

- 専門講師による指導の充実
 - ・ 避難訓練（防災、防犯対策）・交通教室
 - ・ SNS等の情報ネット対応講座
 - ・ 薬物乱用防止教室・思春期講座（性教育）
 - ・ 放射線教育講座

3 教育相談の充実

- 日常のふれあいと観察
- 教育相談活動の充実
 - ・ 家庭訪問、個別面談、三者面談 等
 - ・ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携

4 たくましい心と体づくり

- 人間関係調整力の醸成
- 部活動や体育の授業を通じた体力の向上（体力向上タイムの活動）
- 「自分手帳」を活用した健康・体力づくり

1 学校だよりの充実

- 「久中だより」の継続と地域への発信
- 保護者宛文書等の充実
- 学校ホームページのスムーズな更新
- 計画的な進路情報の発信

2 保護者会の充実・改善

- 定期的な授業参観の実施
- 学校経営・運営ビジョン説明会の実施
- 生徒が受講する各種教育講座の周知と保護者参加の呼びかけ

3 地域の教育力の導入と公開

- 「ふくしま教育週間」の周知
- 各種学校行事の公開
- 公民館・各種教育施設等との連携
- 積極的な地域人材・講師の活用
- 地域の職場・事業所への体験受入れ要請

4 学校評価の実施と情報公開

- 外部アンケートの継続実施
- 自己評価・学校関係者評価の実施と公開（ICTの活用）
- 評価結果の分析と教育活動への反映



重点目標 4
開かれた学校